

## まえがき

はじめまして。

鈴乃音宏美と申します。

本書を手にとっていただきまして、誠にありがとうございます。

本書を通して伝えたいのは「意識」の大切さと重要性です。

私たちが選ぶ言葉も、行動も、その根っこには「意識」があります。意識する視点は、経験と学びの中で磨かれていく大切なもの。

親として、人として、常に磨いていきたい意識という霊性を、人生をかけて学んだ経験の書。

食支援歯科衛生士という口腔専門家として、3人の子の母として、魂の修行者として。その経験と視点からの、今までにはなかった「魂の子育て」という考え方です。

執筆をした2年という時間は人生の転機を迎えるような出来事ばかりで、子育てはアクシデントの連続でした。

その経験をを通して、成長があり、発見があり、クレイジーな子育てを夫婦で貫いてきました。自分でも思います。「この家族はぶっ飛んでいる」(笑)

子育てはクレイジーで、エキサイティングです。

子どもは、常に親の想像をはるかに超えて生きていくものだから。

奇想天外な子どもとの成長を楽しみ、自由でとらわれない発想を育む努力はしていますか？

一緒に過ごせるわずかな時間を慈しめていますか？

どうしようもない苦しさといライラに翻弄されるだけでなく、翻弄されている自分をも愛していけていますか？

私がこの感覚を身につけるに至るまでの絶望と学び、また、苦しい期間に私を救ってくれた専門家、共感し合えた歯科衛生士たちのご紹介をしています。

行き詰まったときには、どうぞプロを頼り、心と現実を癒やす方法を見つけてください。

子育ての質は親の魂の質であり、質は意識と経験に基づくものです。意識と経験は、魂に蓄積されていきます。

親も子も本来は魂の存在です。子育てはそのクレイジーさから、最もその魂の本質と出会う機会が多い事業でもあるのです。

魂が望んだ生き方とは何か？

なぜその子は生まれてきてくれたのか？

自分はなぜ生まれ、どう生きたかったのか？

私たち家族のぶっ飛んでいる人生経験が、何かの「気づき」になれば嬉しく思います。

読者さまにとって、本書が自分の魂の喜びを思い出し、人生のお役に立てる1冊でありましたら嬉しく、心よりお祈り申し上げます。





鳥居前 家族

